

10/26

地域の防災意識を高める 泉区防災活動研修会

泉 区自治会は防災の意識を高めるために泉集会所で防災活動研修会を実施し、32人が参加しました。

当日は消防職員を講師として招き、初動対応について、消火器を使った消火訓練や応急手当などについて実技を交えて講演。その後、避難所運営ゲーム「HUG」を、実際の避難所を想定して実施しました。

最後にはカレーの炊き出しが提供され、地域の防災意識を高めた1日となりました。



消火器を使った消火訓練

10/26

仮装で楽しく盛り上がる ははこのハロウィンパーティー

は このハロウィンパーティーが母と子の館で行われ、約60人が参加しました。

赤い羽根共同募金助成事業で、読み聞かせ団体「絵本の玉手箱」が運営を行い、母と子の館の日に合わせて、今回が2回目のハロウィンパーティーの開催となります。

当日は、仮装した子どもたちにお菓子が配られたり、○×クイズやジャンケン大会、仮装コンテストなどが行われ、みんなで楽しく盛り上がりました。



ジャンケン大会で盛り上がる子どもたち

10/28

全国大会出場 西胆振ベースボールクラブ

虻 田中・伊達中・伊達光陵中の西胆振3中学校で構成する西胆振ベースボールクラブが、11月1日から静岡県で開催される全国大会への出場を決め、虻田中の選手が真屋町長に報告を行いました。

大西巧真さん（虻田中3年）が「南北海道代表として、精一杯頑張りたい」と意気込みを語り、真屋町長は「一生懸命頑張ってください」と激励しました。結果は残念ながら、1次リーグ敗退となりました。



全国大会出場の報告をする虻田中の選手たち

10/26

次の噴火に向けて備えを 北海道火山勉強会 in 有珠山 一般向け講演会

次 の有珠山噴火に向けての備えを進めるきっかけとして、北海道火山勉強会 in 有珠山一般向け講演会が役場防災研修ホールで開催され、町民や防災関係者など約120人が参加しました。

当日は室蘭工業大学准教授の後藤芳彦さんと他3人の講師が、「有珠山、最新の研究成果と火山活動の現状」と題して、観測データに基づいた有珠山の活動の現状について研究成果を発表しました。



研究成果を発表した講演会

11/9

元気な歌声が会場に響く 洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル

年に1度、町内の小中学生が集まり合唱を披露する第26回洞爺湖子ども芸術文化フェスティバル（同実行委員会主催）が洞爺湖文化センターで開催されました。

虻田、洞爺湖温泉、とうやの3小学校と虻田、洞爺の2中学校の合わせて5校が参加、日頃の練習の成果を披露しました。

プログラムの最後には、児童・生徒や保護者など会場全体で「マイバラード」を歌い、元気な歌声を響かせました。



会場全体で歌った「マイバラード」

10/30

災害時に備える 虻田小学校防災授業

虻田小学校6年生を対象とした防災授業を役場企画防災課職員を講師として、行いました。

本授業は理科の災害学習の一環で、活火山である有珠山の次の噴火に困らないように備えることや災害現場で知識を生かしてもらう目的で実施。

当日は、ハザードマップから自分の家を探したり、新聞紙でスリッパやコップを作成するなど、防災について楽しく学びました。



新聞紙でスリッパを作成する子ども

11/11

税についての作文 落合亜香さん洞爺湖町長賞受賞

令和元年度中学生の「税についての作文」（全国納税貯蓄組合連合会、国税庁主催）で、落合亜香さん（虻田中1年）が洞爺湖町長賞を受賞し、皆見教育長から表彰状と記念品が手渡されました。

受賞した落合さんは、「自分が賞をもらえるとは思わなかったのが驚きでしたが、うれしいです。税金の仕組みや使い道がわかり、とても大事なものだということを学びました」と話しました。



洞爺湖町長賞を受賞した落合亜香さん

11/10

支笏洞爺国立公園 70 周年記念事業 ネイチャービンゴで秋を楽しもう

支笏洞爺国立公園70周年を記念して、「ネイチャービンゴで秋を楽しもう」が洞爺財田自然体験ハウス周辺で行われ、38人が参加しました。

ネイチャービンゴとは、森の中をウォーキングしながら決められたお題を探し、ビンゴを完成させるゲームです。参加した小学生は「木の実や昆虫などを探しながらビンゴを作るのが楽しかった」と話しました。他にもガイドウォークや工作体験を楽しみました。



木の実を採る子どもたち